

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/11/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



(出所)Refinitivよりマーケットエッジ作成

需要不安で戻り売り優勢

NY原油先物相場は、1バレル=79.77ドルまで切り返した後に7月7日以来の安値となる72.16ドルまで軟化した。週末にかけては76ドル水準まで下げ幅を縮小する荒れた展開になった。11月13日に石油輸出国機構（OPEC）、14日に国際エネルギー機関（IEA）が11月月報を公表したが、ともに2023年の世界石油需要見通しを引き上げたことが、安値修正を促した。しかし、その後は米原油在庫の増加もあって需要不安の織り込みが再開され、下値を切り下げている。週末にかけては下げ過ぎ感から安値修正の動きがみられたが、前週比では1.13ドル安になった。

需要不安の値下がりが続いているが、OPECとIEAはともに需要は従来の想定よりも強いとの見通しを示している。先進国の需要鈍化傾向が目立つが、一方で中国など新興国の需要は底固く推移している。OPECは、石油市場のファンダメンタルズは依然として強気として、投機的な値下がりとの評価を行っている。ただし、原油相場の反発は一時的なものに留まり、底入れを促すには至らなかった。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（11月10日時点）は、原油が前週比359万バレル増、ガソリンが154万バレル減、石油精製品が142万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

週末に産油国会合、イベントリスク警戒で安値修正か

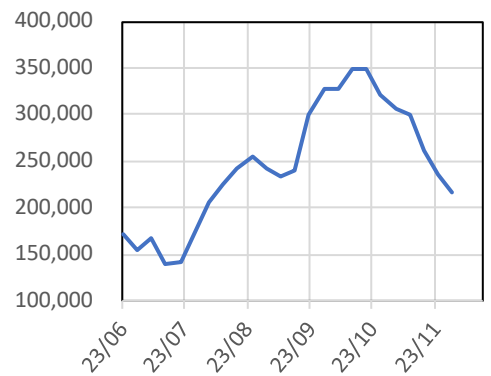
需要不安の上値圧迫が続く中、まだ下振れリスクを完全に払しょくできていない。OPECとIEAの需要見通し引き上げでも、原油相場は需要不安の織り込みを続けることを選択している。これは短期的な地合が依然として悪化状態にあることを示すと同時に、中期的には投機色の強いオーバーシュート感の強い安値形成が進んでいることを示している。75ドルの防衛に失敗したことで、次は70ドル水準が支持線として機能するかが打診される。

ただし、今週は週末の11月26日にOPECプラスの合同閣僚監視委員会（JMMC）が開催されるため、イベントリスクから安値修正の動きが強まりやすい環境になっている。80ドル割れの価格水準に対する産油国の危機感強く、JMMCでの政策調整が検討されている模様だ。サウジアラビアとロシアの自主的な供給削減策の延長の他、OPECプラス全体としての産油水準引き下げ案なども浮上している。最終的に合意に達することが可能なのは不透明感もあるが、主要産油国から政策調整について前向きなメッセージが発せされると、下げ一服から安値修正フェーズに移行しよう。

5～6月に70ドルを割り込んだ際には、サウジアラビアが自主的な供給削減策を発表したことが、7～9月期の原油相場反発を促した。産油国の財政環境からは許容することが難しい安値圏に突入しており、いわゆる「OPECプラス・プット」と呼ばれる価格防衛機能が働くのかが打診される。ただし、この状況で産油国が何ら動きを見せない場合には、失望売りが膨らむリスクが高まる。

11月23日は感謝祭のため、カレンダー要因からも持高調整の動きが促されやすい。

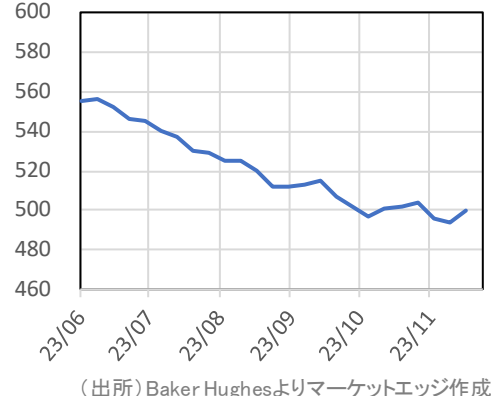
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(万バレル) 米原油在庫



(基) 米石油リグ稼働数



本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

